令和８年度第1回

# 校長「語らいサロン」

令和8年11月14日（土曜日）



【本日のテーマ】

# 寺島中学校の「今」と「これから」

## 1　寺中の「今」　（現状報告）

・寺中生の「今」
・学校評価保護者アンケート・中間報告
　☆感想など

## 2　寺中の「これから」

・学校教育目標
・次期学習指導要領改訂の方向性



# 校訓 “Be proactive!”(「主体的であれ」)

## 「主体的」とは？

○自ら学び、考え、行動する
（**選択と決定**）
○自分の選択・決定に**責任をもつ**

**生徒が「主語」になる**
**学校づくりを始めました**



# R8年度　寺島中学校　“Be proactive!（「主体的であれ」）”

## 学習

「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図る

〇学習過程・学び方
〇PBL
〇評価（チェック、テスト、通知表）
〇家庭学習
〇ICT活用

## 特別活動

生徒による、生徒のための行事・特別活動

〇生徒が企画・運営
〇真の民主主義の重視
（同意形成「誰一人取り残さない」）
〇社会との連携

## 特別支援

環境を整えるインクルーシブ教育の推進

〇5組
〇ゆうあい学級
〇SSR、カウンセリングルーム
〇ユニバーサルデザイン

## 一体的な働き方改革

## 地域・保護者

CS、開かれた学校

〇学校公開
〇情報発信（各種通信、ホームページ、すぐーる等）
〇校長「語らいサロン」
〇学校評価アンケート
〇学校運営協議会、PTA、育成委員会との連携

## 生活

自治・自律　生徒が『主語』になる学校

〇「どうしたの」「どうしたいの」「手伝えることある」
〇民主的な生徒会活動
〇生徒が考え、決める「決まり（校則）」
〇礼儀・社会規範・法の重視（諸機関との連携）

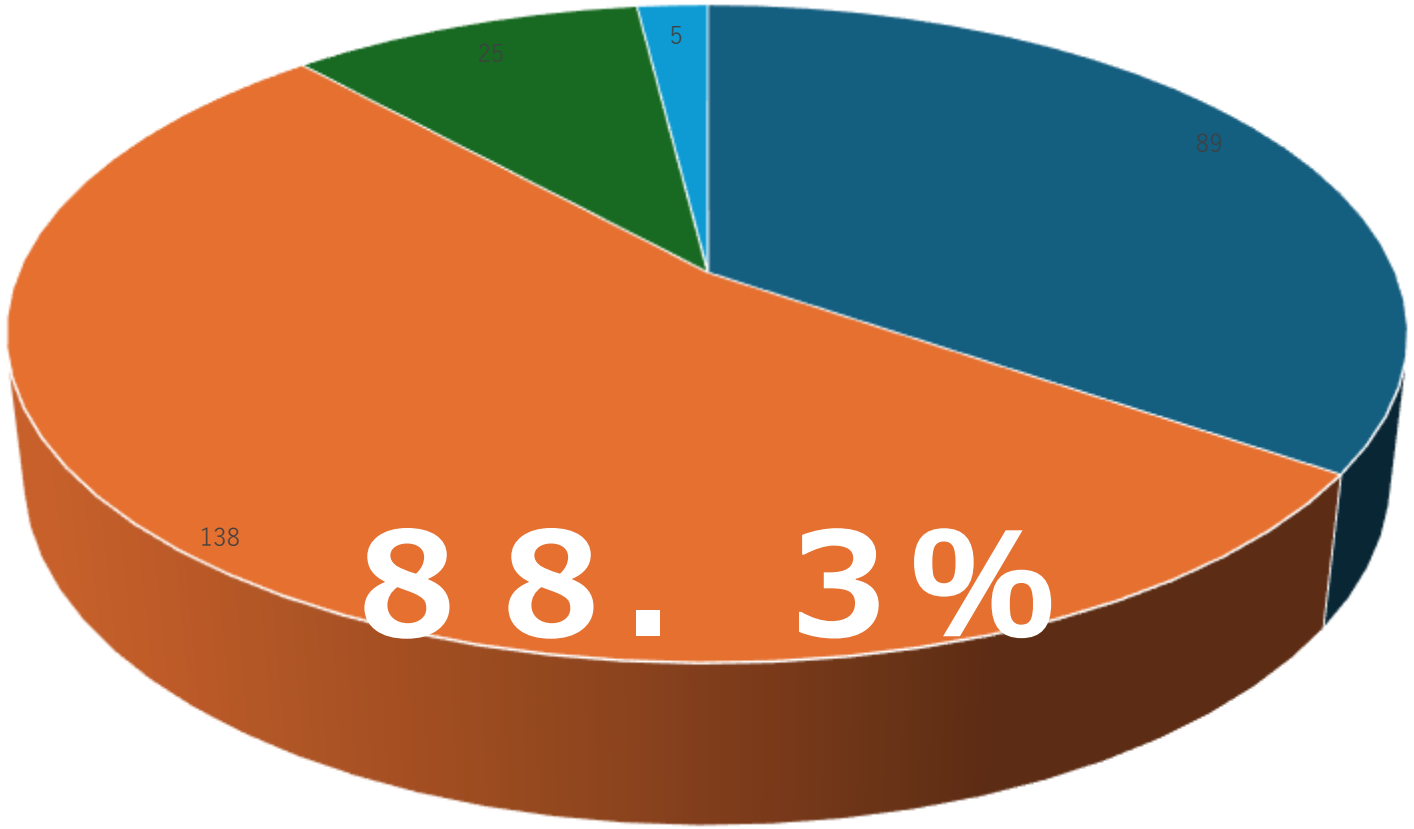
## 部活動

生徒の主体的な活動へ

〇顧問
〇外部指導員
〇地域移行
〇保護者の協力

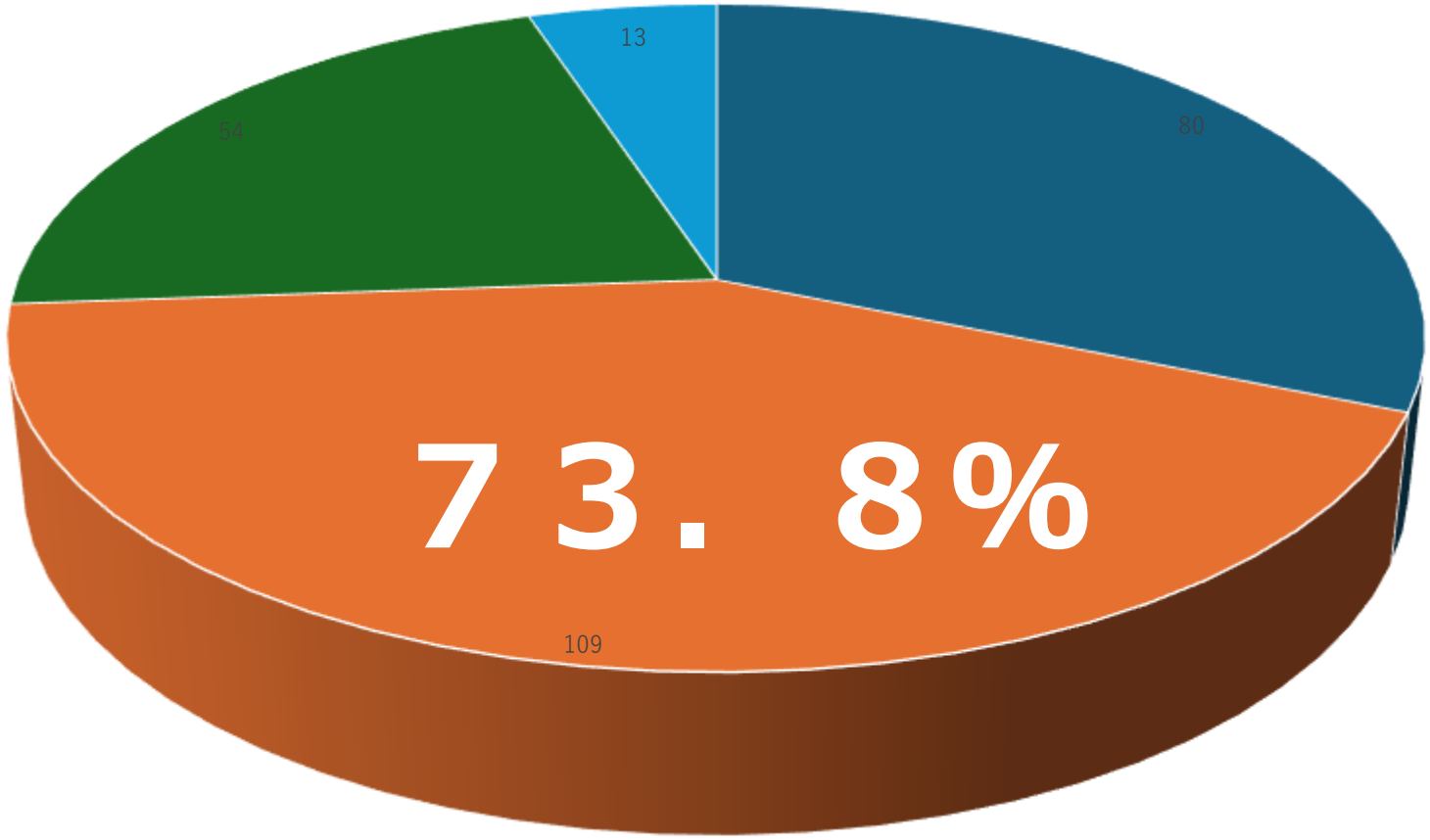
# 寺島中学校はどんな学校?　（７月）

「学校は、自分が安心して過ごし、意見を言える場だと感じる」



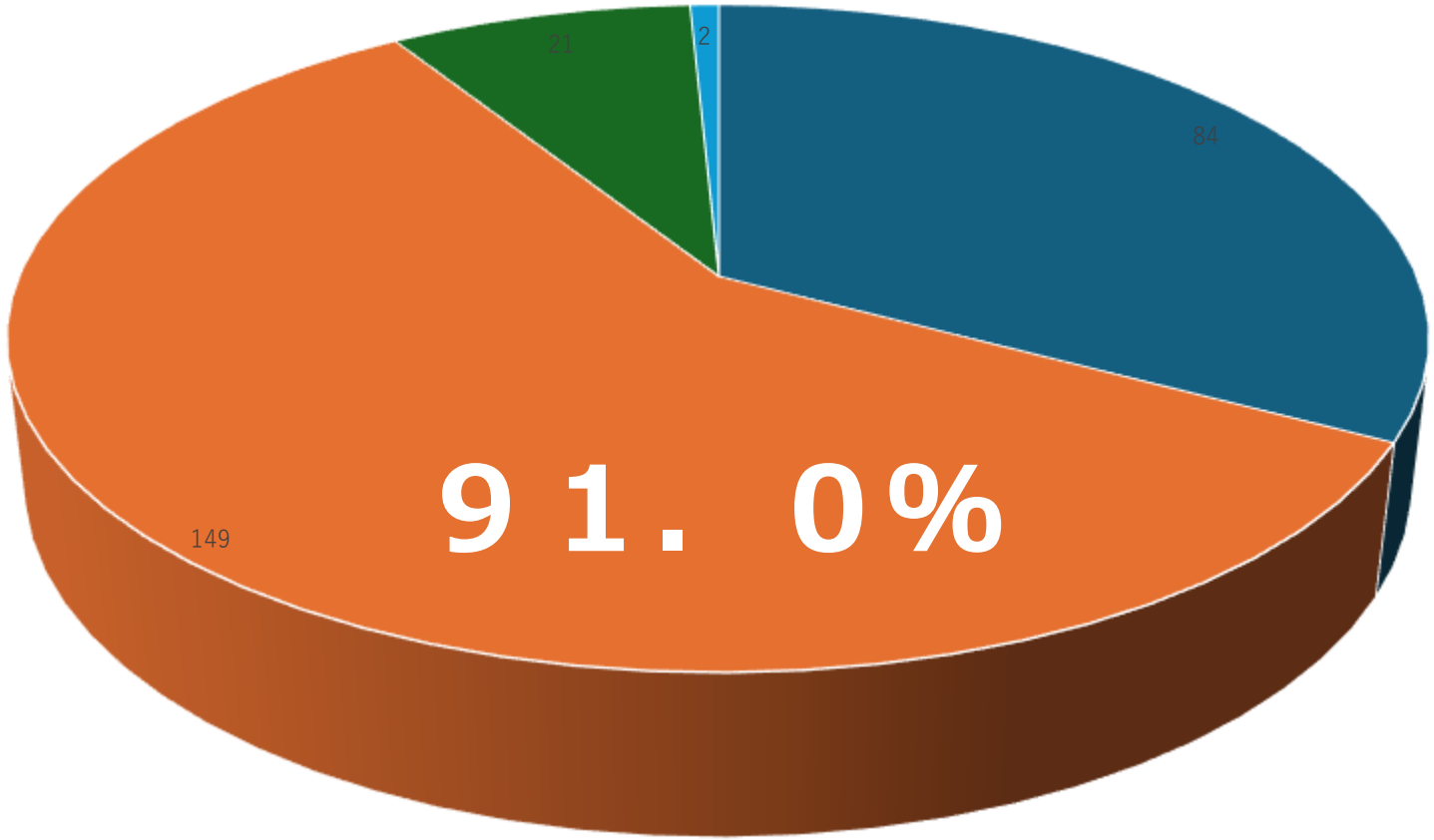
# 寺島中学校はどんな学校?

「自分は、生徒会活動や学校行事の運営に主体的に関わっていると感じる」



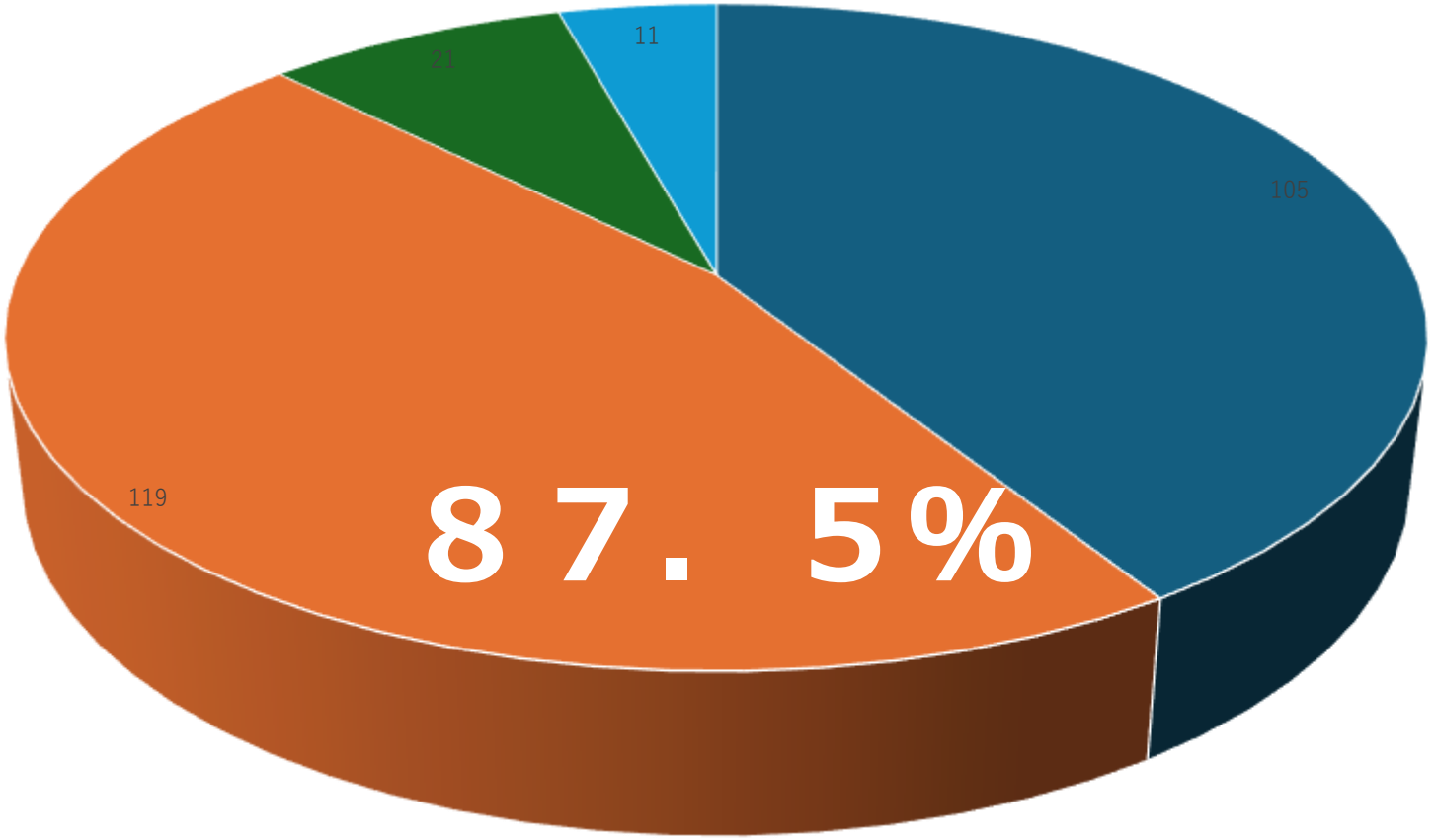
# 寺島中学校はどんな学校?

「生徒が主体的に考えたり話し合ったりする学び方に変わってきていると感じる」



# 寺島中学校はどんな学校?

「教職員は、言葉遣いや態度が適切であると感じる」



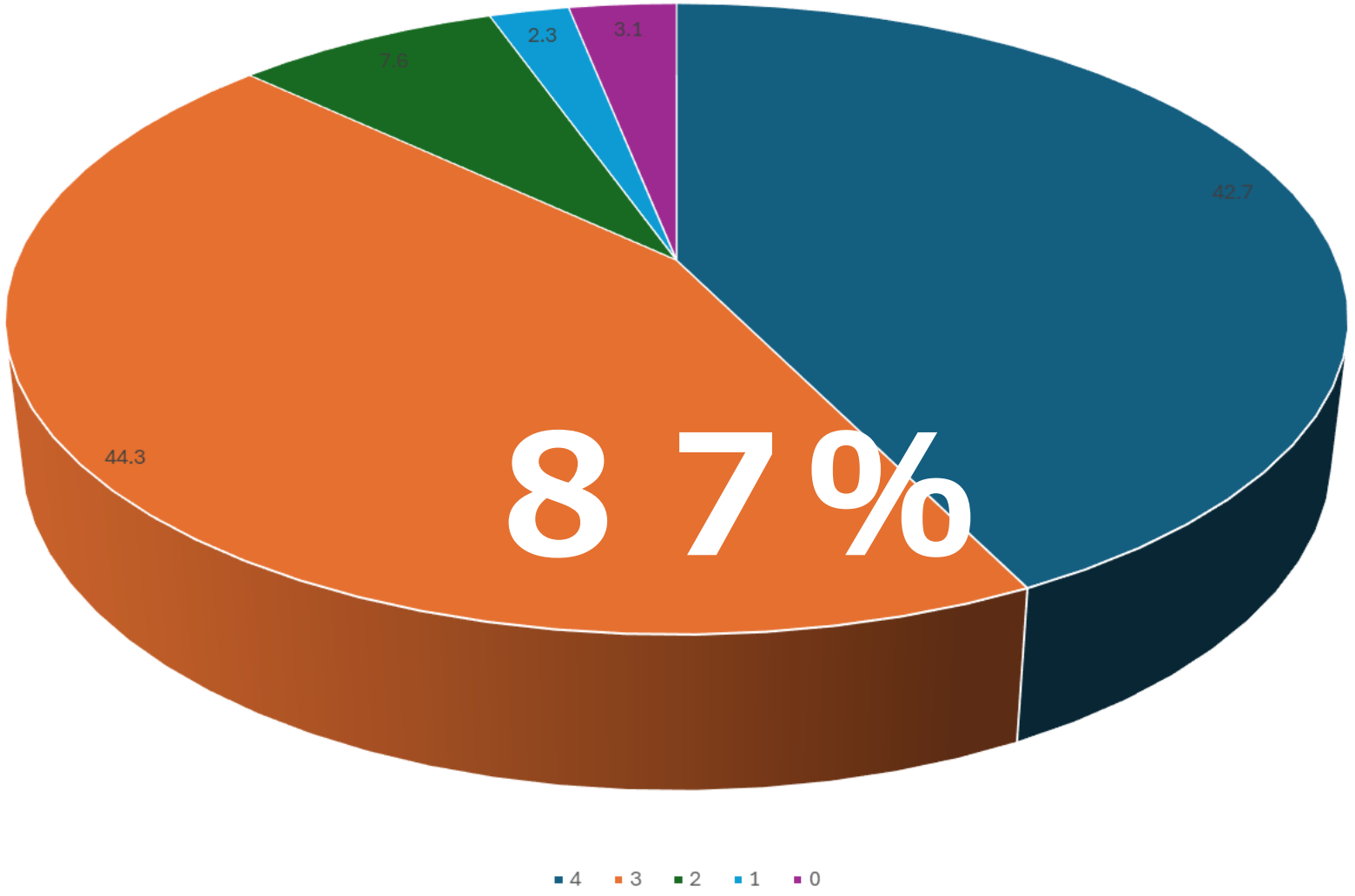
# 学校評価保護者アンケート

## 中間報告

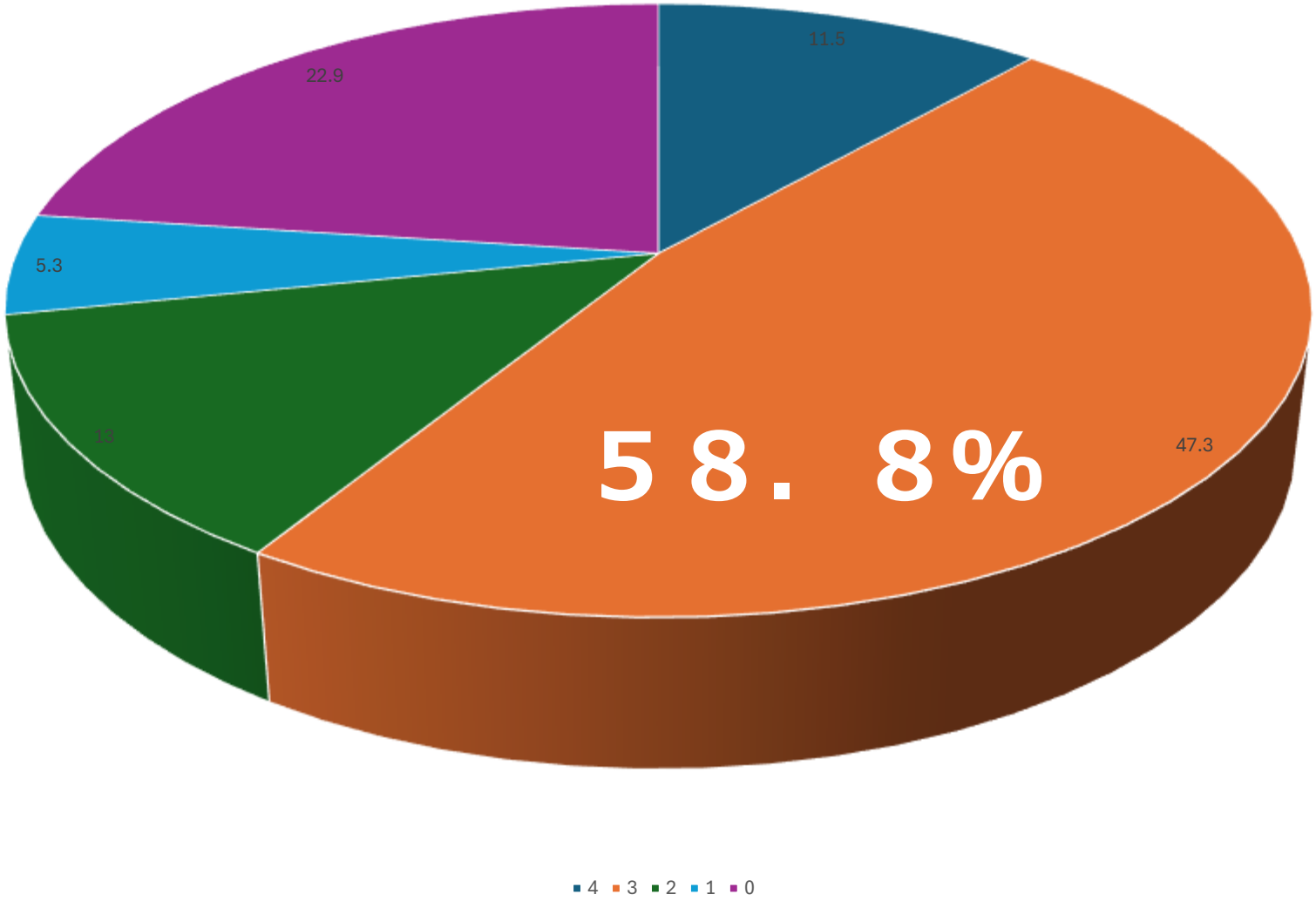
11月6日～22日　実施中



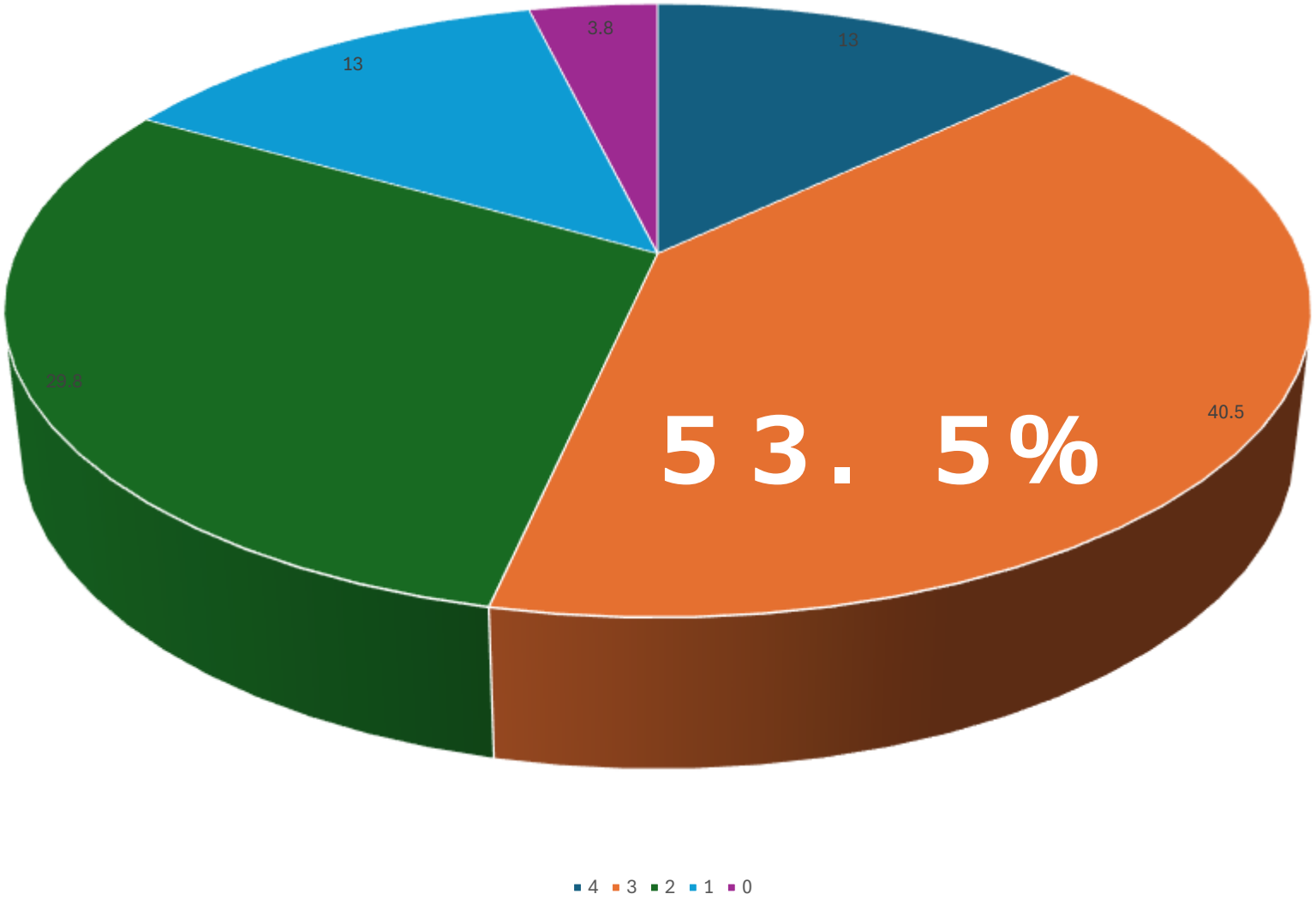
# 我が子は毎日明るく楽しい学校生活を送っている。



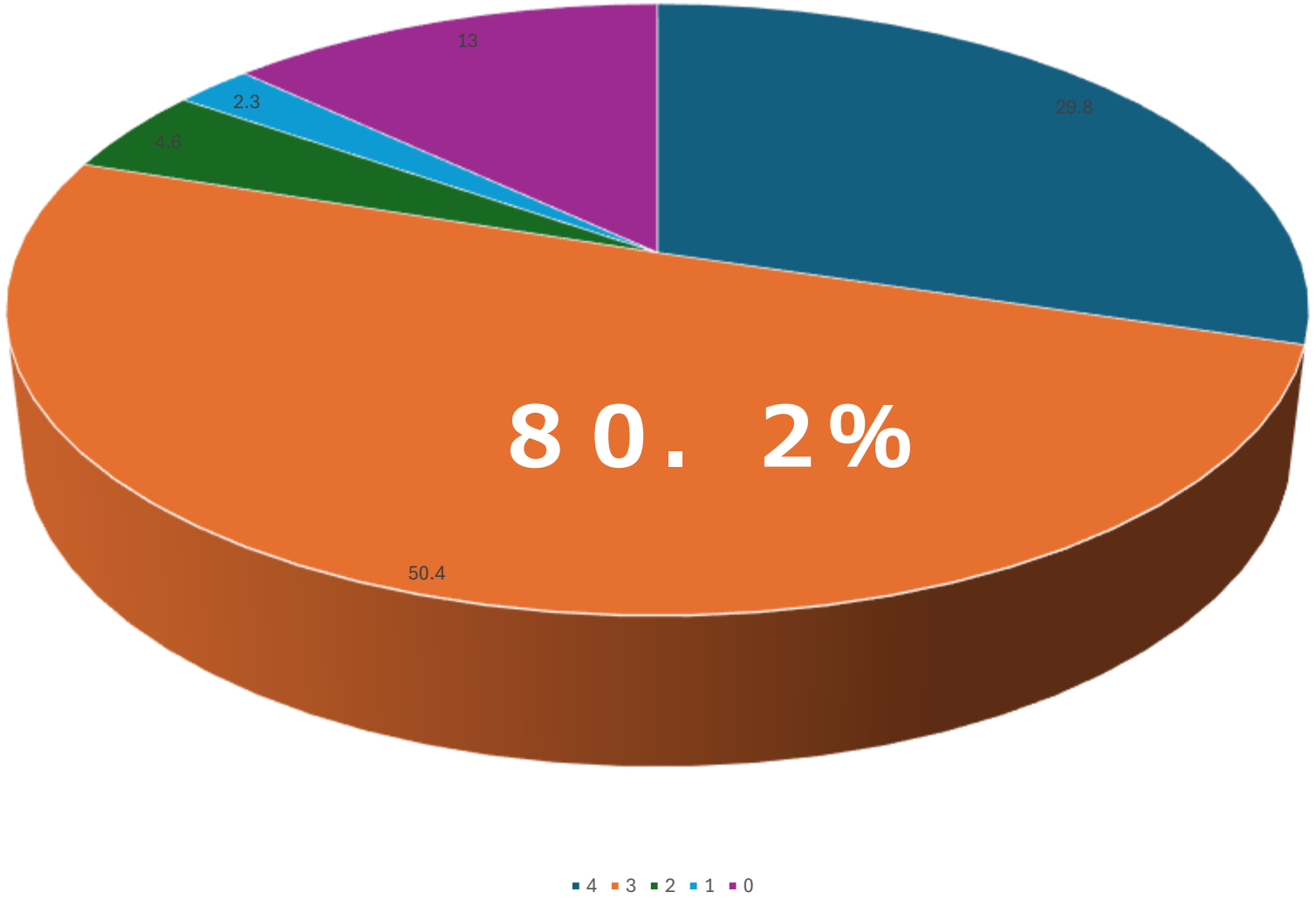
# 学校は生徒の学力、意欲、態度などを適正に評価し、一人一人の良さを伸ばそうとしている。



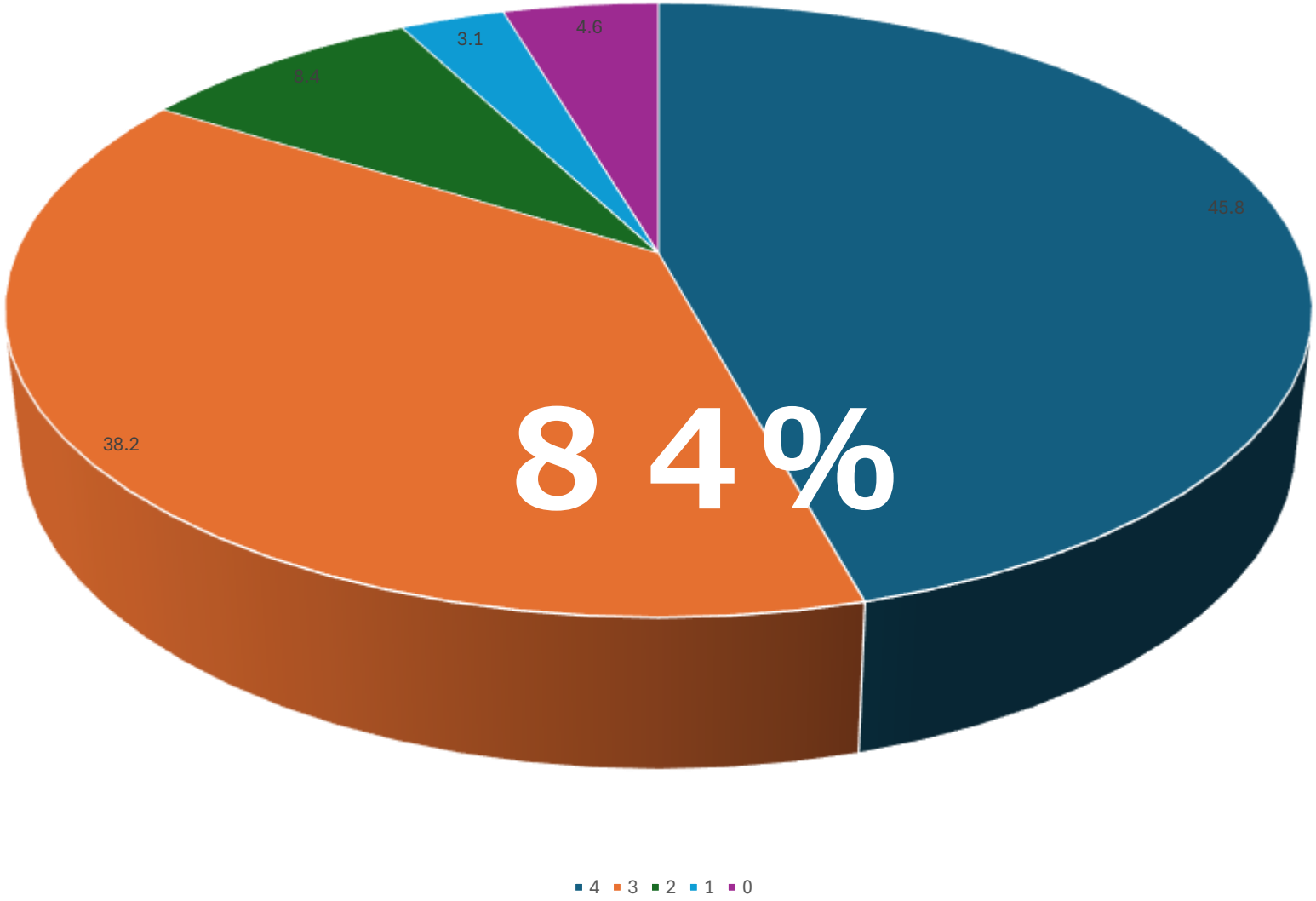
# 我が子は学校の学習で学力がついている。



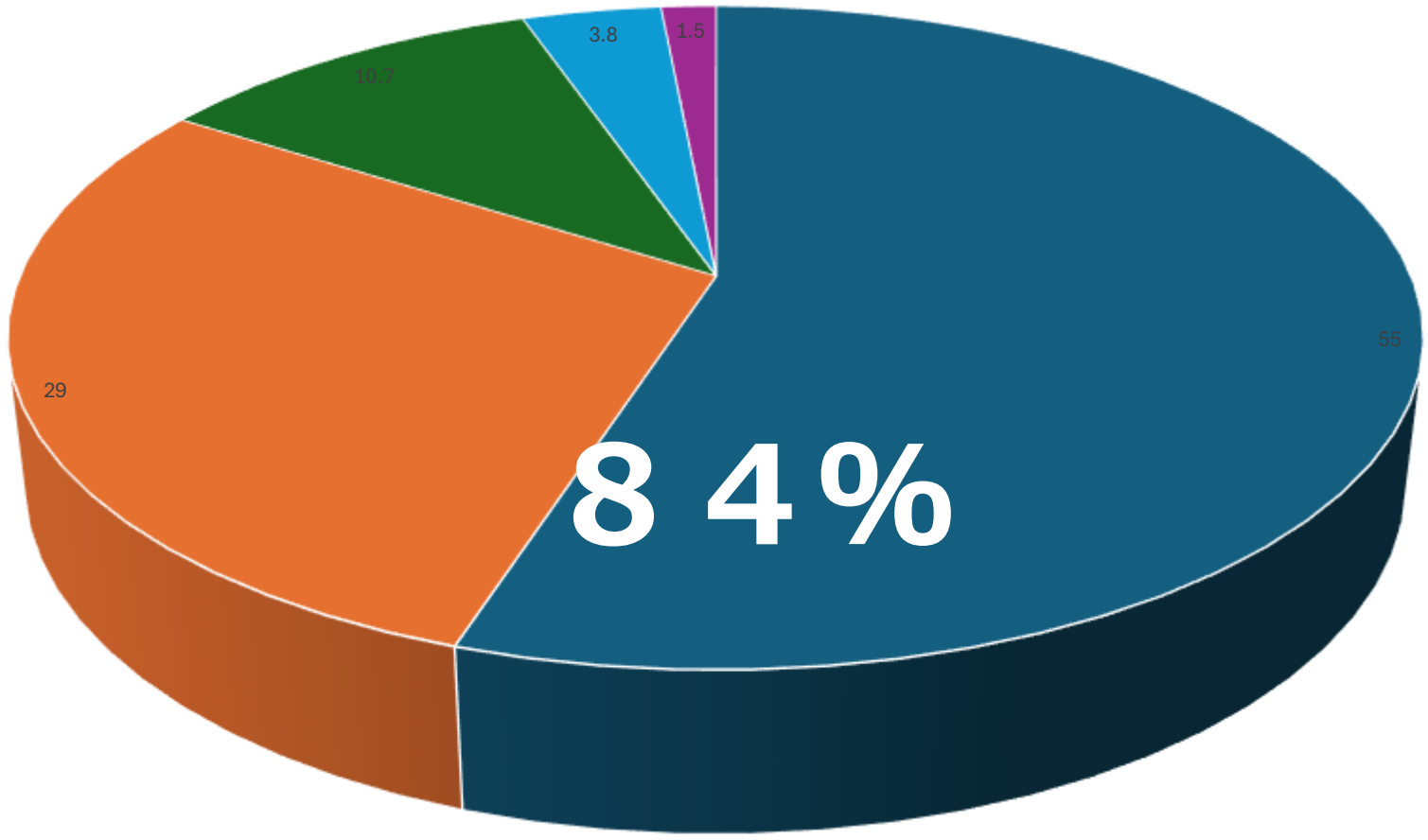
# 学校は、生徒会活動や行事を通して、生徒の主体性を伸ばそうとしている。



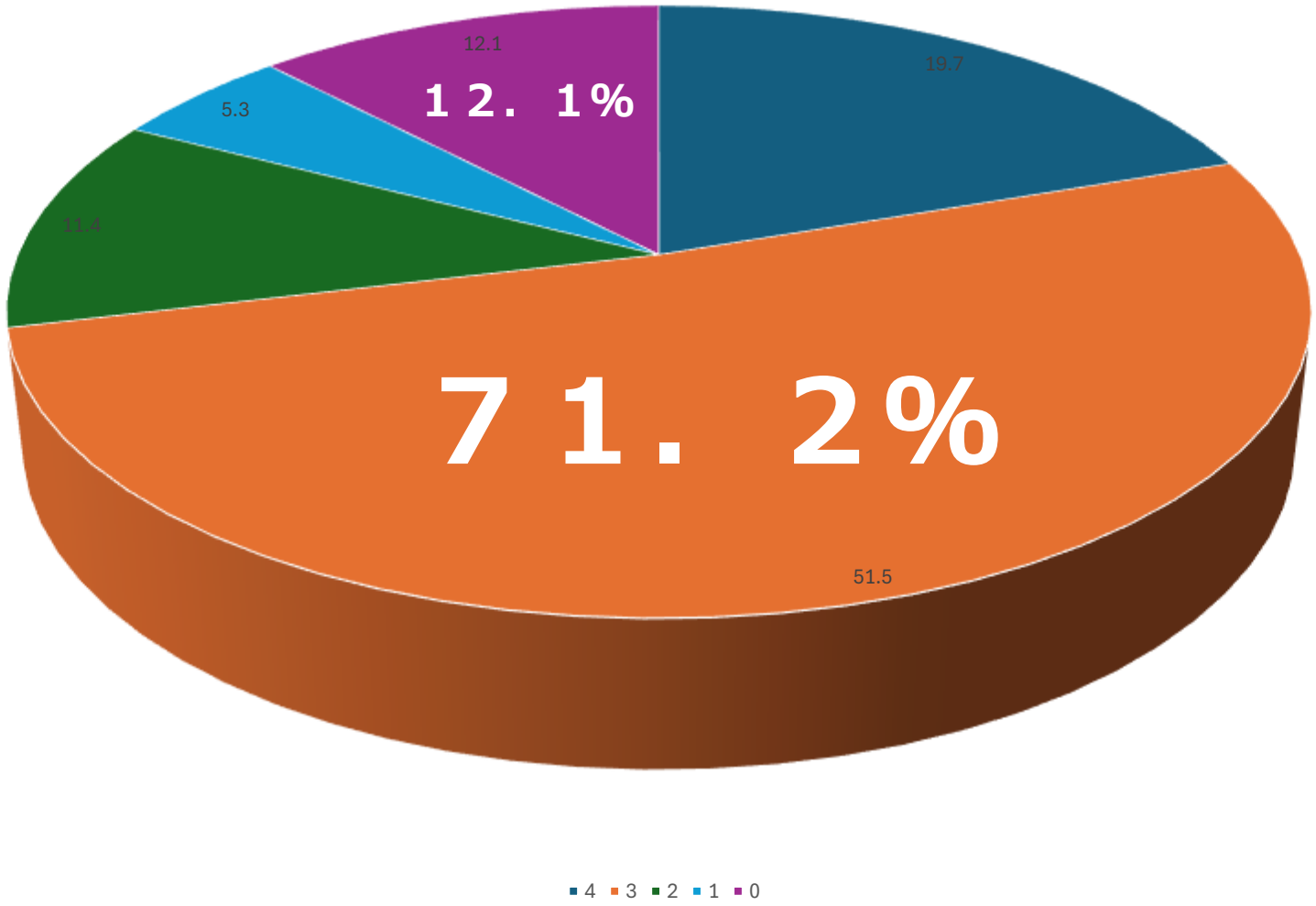
# 我が子の友人関係は良好である。



# 我が子は学校行事や部活動を楽しみにしている。



# 本校の教育に満足している。



# トークタイム



# 寺中の「これから」

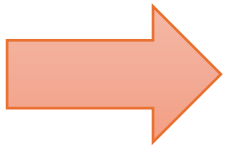
## 学校教育目標の改訂

教育目標

一、深く考え自ら学ぶ生徒

一、心豊かで
　　思いやりのある生徒

一、健やかでたくましい生徒



寺島中学校教育目標（案）

**自律**　自ら学び、考え、行動する人

**共生**　思いやりをもち、共に生きる人

**健康**　しなやかで丈夫な
　　心と身体をもつ人

# 寺中の「これから」　学校教育目標の改訂

**寺島中学校教育目標（案）**

**自律**　自ら学び、考え、行動する人

**共生**　思いやりをもち、共に生きる人

**健康**　しなやかで丈夫な心と身体をもつ人

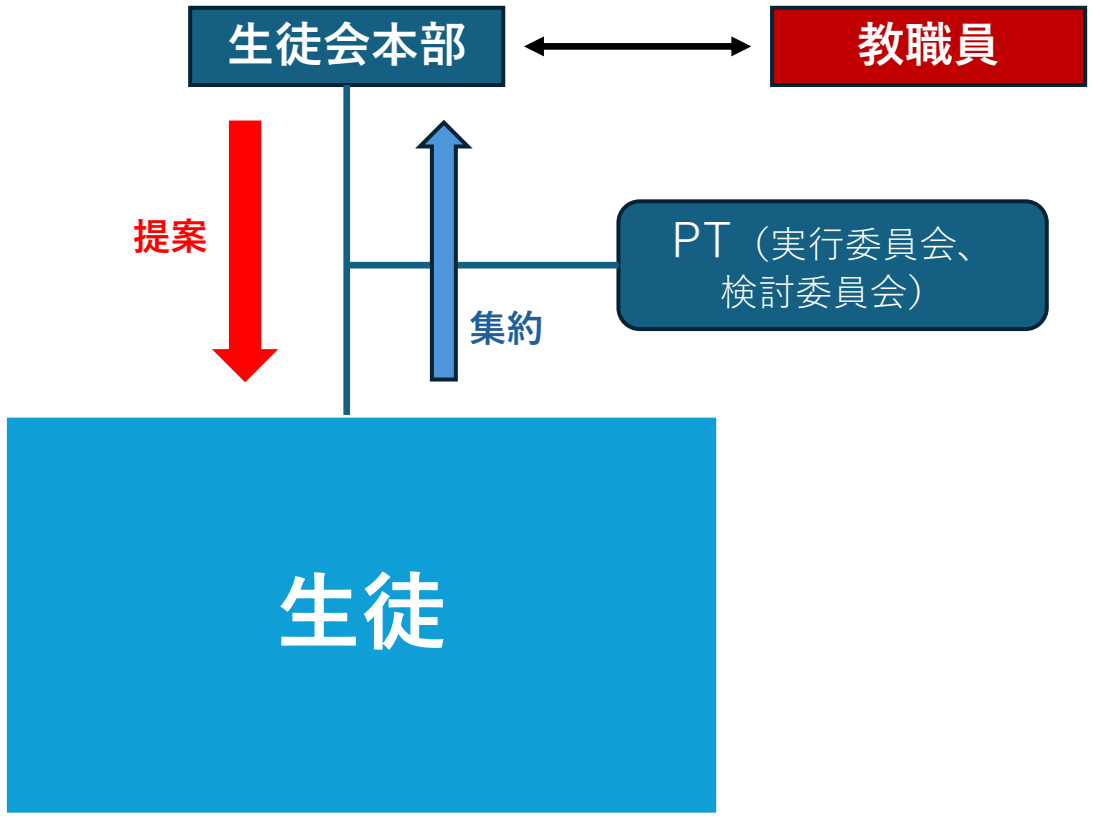
「自律」＝主体性、当事者性、自己調整力、メタ認知など
**Autonomy:  A person who learns, thinks, and acts proactively.**

「共生」＝共感力、寛容性、多様性（diversity）の包摂（inclusion）
**Empathy:  A person who shows kindness and empathy and lives harmoniously with others.**

「健康」＝心身の強さ・柔軟性、耐性（resilience）
**Health:  A person with a resilient mind and a healthy body.**

# 寺中の「これから」

## 生徒が「主語」になる学校づくり






# 次期学習指導要領に向けた検討の基盤となる考え方

～あらゆる方策を活用し、三位一体で具現化～

## ① 主体的・対話的で深い学びの実装

生成AIが社会に浸透しつつある中、より一層「深い学び」の**重要性が高まっている**。教師が**そのイメージを掴み取り、授業づくりに生かしやすい学習指導要領**とし、「主体的・対話的で深い学び」の実装を図る。

- 学習指導要領の構造化・表形式化・デジタル化
- 質の高い探究的な学び
- 豊かな学びにつながる学習評価
- 情報活用能力の抜本的向上
- 学習の自己調整や学習方略の指導等による個に応じた学習過程の充実

## ② 多様性の包摂

**全ての子供たちに「深い学び」による資質・能力の育成を図る必要**がある一方、子供たちの多様性は格段に顕在化。**子供の実態や課題に応じた教育課程・学習指導を充実・可能とする**ことで、全ての子供たちを包摂し、必要な資質・能力を育成する。

その際、民主的で持続可能な社会の創り手を育てる上で、多様な他者と学ぶ学校が大きな役割を果たす。

- 調整授業時数制度
- 高等学校の単位制の大幅な柔軟化
- 特別の教育課程の新設・拡充
- デジタル学習基盤の活用
- 学習の自己調整や学習方略の指導等による個に応じた学習過程の充実

## ③ 実現可能性の確保

①②の実現・両立は容易ではなく、教育課程の実施に伴う負担への指摘に真摯に向き合い、実現可能性を確保する必要。**教育課程において教師と子供に「余白」（多様な子供たちの深い学びを実現するための時間的余裕）を創出**し、豊かな学びに繋げる。

- 調整授業時数制度（特に裁量的な時間（研究・研修等枠））
- 構造化等に伴う教科書の精選・必要に応じた内容の精選
- 授業時数や週当たりコマ数の適正化・平準化
- カリキュラム・マネジメントの更なる実装

## 多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

**生涯にわたって主体的に学び続け、多様な他者と協働しながら、**

# 「主体的・対話的で深い学び」の実現を通じた 自らの人生を舵取りする力 と 民主的で持続可能な社会の創り手 の育成

「好き」を育み、「得意」を伸ばす（興味・関心） × 当事者意識を持って、自分の意見を形成し、対話と合意ができる

児童生徒の学習意欲を喚起するとともに主体的な進路選択にも繋げる

高 中 小 幼

## 総合

**自己の興味・関心に関わる課題の設定の充実**

- 「テーマ探究」と「マイ探究」をバランスよく組み合わせる
  - 教師を起点として共通テーマを設定 → テーマ探究
  - 個人を起点として課題を設定 → マイ探究
- 「プレゼン」、「レポート」等に加え、「作品制作」も示すなど探究（外化）の在り方を拡充
- 多様な興味・関心に応えるチームでの指導体制

## 各教科等

**生きて働く「確かな知識」の習得**（意味理解や知識の構造化を重視）

**自分の意見や考えを根拠をもって表現する活動**
（AIに依存せず、書く・話すなどの外化を通じ、習得した知識や自分の意見や考えを表現）

**探究的な学びの充実**
（教科においても「なぜ？」を重視し、知識の構造化や総合での課題の発見に繋げる）

**興味・関心が広がる教材・学習方法の選択を促進**
（デジタル学習基盤の積極的活用、紙・デジタルの双方を含む多様な教材の活用を推進）

**社会・職業とのつながり・学ぶ意義の重視**
（全ての教科で重視。特に中・高では「数学ガイダンス」「科学ガイダンス」を新設）

**メディアリテラシーや情報モラルの育成**
小・総合の「情報の領域」、中・「情報・技術科」をはじめ教育課程全体で重視（クリティカル・シンキング、情報の真偽や偏りの吟味、判断の留保、デジタルの賢い使い方と距離の置き方 等）

**自律的な学習習慣の形成**
（学習の自己調整を通じて、家庭学習の内容や学び方を自律的に決定）

## 特別活動

**子供主体のルール形成**
- 納得解を創造する合意形成
- 意見表明の機会の確保
- 安易な多数決の回避や少数意見の吟味の重視
- 対話と合意の手法を活用

**子供主体の学校行事**
- 企画・運営を含め児童生徒が主体的に役割を担う
- 文化的行事を「好き」や「得意」を発表する機会としても明確化

※教師の適切な指導の下で行うとともに、教師の過度な負担を生じさせないことが前提

## 道徳

**考え、議論する道徳の実装**
- 価値の実現をめぐる葛藤や価値の対立をめぐる葛藤と向き合う
- 道徳的行為に関する実体験や実感を伴う活動を重視

幼児教育における「遊びの深まり」（言葉を用いて考える力の基礎の育成、他者と関わり協同する力の育成、遊びの中で多様な動きを伴う体験の充実と身体感覚の育成）
※幼児教育：0歳～小学校就学前までの幼稚園、保育所、認定こども園における教育

## 多様な子供たちの「深い学び」を確かなものに

- 「深い学び」の実現のための「統合的な理解・総合的な発揮」に向けた授業改善
- 子供たちの多様性を踏まえた個に応じた学習過程の充実（科学的根拠に基づく学習の自己調整や学習方略の指導等、学習途中のアセスメントとフィードバック）
- 構造化に伴う必要に応じた内容の精選、教科書の精選
- 全ての活動を通じ、「学びに向かう力、人間性等」の育成を重視
- 情報活用能力・言語能力の育成を一体的に充実（デジタルのみならず一層身体性を重視）
- 障害や認知特性等多様な実態を踏まえた調整（全ての子供の学びやすさに繋がる授業設計・環境整備・家庭学習を含む）
- 全ての活動の基盤となる心理的安全性の確保（学級経営、教科指導）
- 複層的な包摂に向けた特別の教育課程の新設・改善（校内外教育支援センターに通う不登校児童生徒（新設）、特定分野に特異な才能のある児童生徒（新設）、通級指導・日本語指導が必要な児童生徒）
- 調整授業時数制度の活用（一定の要件の下、各教科等の特数を減じて、教科への上乗せ、弾力的な時間等に活用）

# トークタイム



令和８年度第1回

# 校長「語らいサロン」

令和8年11月14日（土曜日）



## ありがとうございました